KAYABA RALLY TEAM

JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート#3

2025年 JAF全日本ラリー選手権 第3戦

YUHO Rally 飛鳥 supported by トヨタユナイテッド奈良

2025/5/16(金)～18(日)

奈良県天理市/桜井市/高市郡/吉野郡/山辺郡/宇陀市

32年ぶりの未知に挑め

クラス7位/総合9位！！

KAYABA RALLY TEAM

大会概要

日程: 2025/5/16(金)～18(日)
場所: 奈良県天理市周辺
主催: モータースポーツクラブ
シンフォニーオブ京都
SS数: 10
路面: ターマック
総走行距離: 391.08 km
SS距離: 62.88 km



スペシャルステージ設定

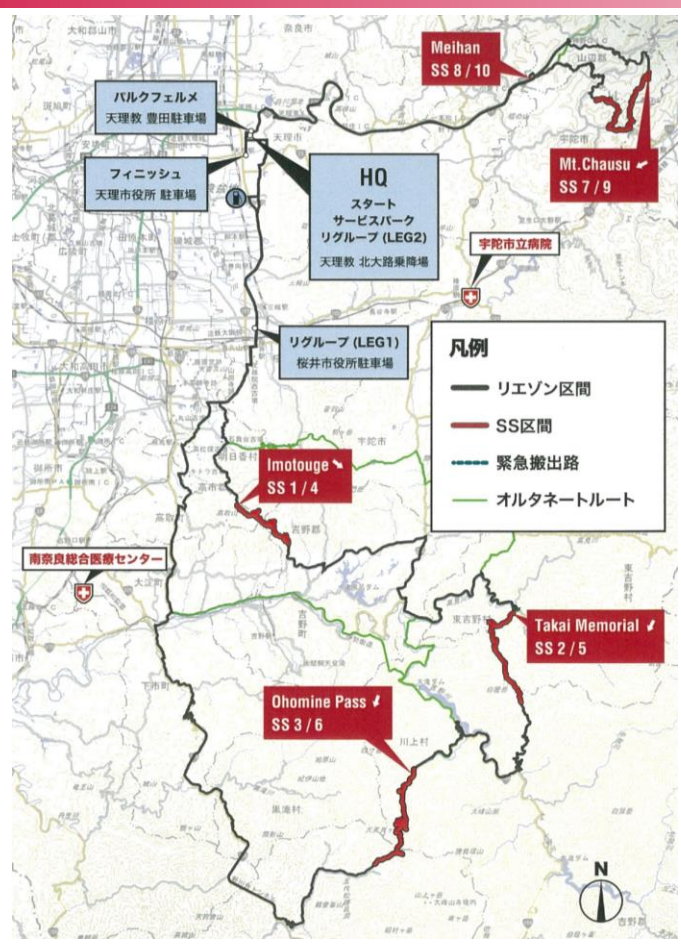
【LEG1】 5/17(土)
天候: 雨のち曇り / 路面: ウェット

	スタート		7:00
SS1	Imotouge 1	5.86 km	7:48
SS2	Takai Memorial 1	7.18 km	8:41
SS3	Ohmine Pass 1	9.45 km	9:24
	サービスA (45分)		11:49
SS4	Imotouge 2	5.86 km	13:32
SS5	Takai Memorial 2	7.18 km	14:25
SS6	Ohmine Pass 2	9.45 km	15:08
	サービスB (45分)		17:38
	パルクフェルメ		18:33

【LEG2】 5/18(日)
天候: 晴れ / 路面: ドライ

	サービスC (15分)		8:38
SS7	Mt.Chausu 1	8.30 km	9:36
SS8	SSS Meihan 1	0.65 km	10:14
	サービスD (45分)		10:49
SS9	Mt.Chausu 2	8.30 km	12:32
SS10	SSS Meihan 2	0.65 km	13:10
	フィニッシュ		13:50

全体図



チーム体制



チーム : KAYABA Rally Team
監督 : 桝本 一憲
チームアドバイザー : 奴田原 文雄
メカニックアドバイザー : 山田 淳一(RUTS RACING)
リーダー/エンジニア : 松下 雄介
ドライバー : 石黒 一暢
コ・ドライバー : 穴井 謙志郎
メカニック : 長江 将典、増谷 大志
松田 幸也、三國 大河

リザルト（JN-1クラス 7位 / 総合 9位 *OPENクラスを除く）

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1								LEG 2						総合計	ｸﾗｽ順位	総合順位
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	Penalty	合計	SS7	SS8	SS9	SS10	Penalty	合計			
JN-1	9	新井 大輝	立久井 大輝	YAHAGI シュコダ ファビア R5	ABCUFX11	FIA	5:09.2	5:32.7	7:38.9	5:02.8	5:21.2	7:26.6		36:11.4	6:29.0	0:39.3	6:14.3	0:39.4		14:02.0	50:13.4	1	1
JN-1	2	Heikki Kovalainen	北川 紗衣	AICELLO速心DLヤリスRally2	MXPA12	FIA	5:13.3	5:47.0	7:48.0	5:05.3	5:28.3	7:28.7		36:50.6	6:25.4	0:38.6	6:14.4	0:38.9		13:57.3	50:47.9	2	2
JN-1	1	勝田 範彦	保井 隆宏	GR YARIS Rally2	MXPA12	FIA	5:15.5	5:49.6	8:00.9	5:07.9	5:34.8	7:31.7		37:20.4	6:23.1	0:39.6	6:17.9	0:39.1		13:59.7	51:20.1	3	3
JN-1	4	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスRally2	MXPA12	FIA	5:13.4	5:49.7	7:55.8	5:12.4	5:40.5	7:36.3		37:28.1	6:32.2	0:39.9	6:23.9	0:39.8		14:15.8	51:43.9	4	4
JN-1	3	鎌田 卓麻	松本 優一	Castroi TEIN DL SKODA	ABCUFX11	FIA	5:23.4	6:10.9	8:17.8	5:23.2	5:47.8	7:49.3		38:52.4	6:41.8	0:38.9	6:29.9	0:39.6		14:30.2	53:22.6	5	5
JN-1	5	福永 修	齊田 美早子	スミロン☆焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABDKZX11	FIA	5:23.0	6:19.8	8:33.1	5:17.1	5:43.1	7:48.3		39:04.4	6:40.2	0:40.0	6:34.0	0:39.1		14:33.3	53:37.7	6	6
JN-2	10	山田 啓介	藤井 俊樹	FIT-EASYソミック石川DLGRヤリス	GXPA16	RJ	5:29.4	7:13.2	8:18.5	5:27.2	6:07.6	8:07.9		40:43.8	6:42.0	0:40.3	6:32.6	0:40.0		14:34.9	55:18.7	1	7
JN-2	12	貝原 聖也	西崎 佳代子	ADVICS多賀製作所K-oneGRヤリスDL	GXPA16	RJ	5:35.5	6:09.5	8:16.4	5:31.6	6:08.4	8:16.7		39:58.1	7:05.9	0:41.2	6:55.6	0:41.6		15:24.3	55:22.4	2	8
JN-1	6	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	ASN	5:44.2	6:17.1	8:32.0	5:43.8	6:06.2	8:20.4		40:43.7	6:52.5	0:40.0	6:48.9	0:40.0		15:01.4	55:45.1	7	9
JN-2	15	内藤 学武	大高 徹也	YH TEIN Moty'sGRヤリス	GXPA16	RJ	5:43.6	6:15.3	8:27.2	5:36.5	6:10.8	8:16.5		40:29.9	7:03.7	0:41.7	6:57.8	0:43.4		15:26.6	55:56.5	3	10
JN-2	19	吉原 將大	安藤 貞敏	UPGARAGE TEIN DL WM WRX	VAB	RRN	5:39.8	6:23.9	8:32.4	5:47.7	6:16.9	8:15.6		40:56.3	6:56.9	0:43.8	6:57.5	0:41.5		15:19.7	56:16.0	4	11
JN-2	17	石川 昌平	大倉 瞳	ARTAオートバックスGRヤリス	GXPA16	RJ	5:51.9	6:21.5	8:30.9	5:41.1	6:09.5	8:11.0		40:45.9	7:08.5	0:41.9	6:58.2	0:42.0		15:30.6	56:16.5	5	12
JN-2(MCC)	21	大竹 直生	橋本 美咲	GR YARIS GR4 Rally	GXPA16	RJ	5:52.5	6:16.7	8:34.2	5:52.3	6:08.7	8:18.0		41:02.4	6:57.0	0:42.5	6:58.3	0:43.8		15:21.6	56:24.0	6	13
JN-4	46	藤原 友貴	宮本 大輝	ロッソレーシング WM DL スイフト	ZC33S	RJ	5:41.1	6:16.9	8:32.6	5:42.8	6:17.6	8:18.2		40:49.2	7:13.0	0:41.5	7:04.2	0:42.0		15:40.7	56:29.9	1	14
JN-2(MCC)	22	稲葉 磨人	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL KYB GRYaris	GXPA16	RJ	5:51.7	6:16.1	8:45.4	5:42.6	6:09.2	8:20.3		41:05.3	7:08.8	0:42.1	7:02.2	0:42.1		15:35.2	56:40.5	7	15

KAYABA RALLY TEAM

5月16日(金)～18日(日)、奈良県天理市を拠点に全日本ラリー選手権 第3戦『ラリー飛鳥』が開催された。本大会は、昨年まで京都府で実施されていた「ラリー丹後」に代わる新たなイベントであり、奈良県での全日本ラリー開催は実に32年ぶりとなる。過去のインカー映像などのデータがほとんど存在せず、全てのチームにとって“未知への挑戦”となるラリーとなった。金曜日のレッキ（コース下見）は好天に恵まれたが、土日の競技は雨の予報。刻々と変わる路面に備え、天候変化を見据えたペースノート作りが勝負を分ける鍵となる。競技は、17日(土)のレグ1に6本、18日(日)のレグ2に4本の計10本のスペシャルステージが設定された。

LEG 1

SS1/4　「Imotouge 1/2」 5.86 km

明日香村と吉野町を繋ぐ「芋峠」を走行。序盤は非常に狭く緩やかなコーナーが連続し、中盤以降はタイトな峠道へ変化。終盤は道幅が広く下り勾配となり、全体としてリズムが取りづらい構成だった。雨の中で挑んだSS1ではリズムに乗れず、総合17位と出遅れる結果に。サービスを挟んだ2ループ目のSS4では車両仕様を変更して臨んだが、タイムアップには繋がらず。全ステージ中で最も噛み合わなかったステージとなり、苦手分野が浮き彫りとなる結果に。

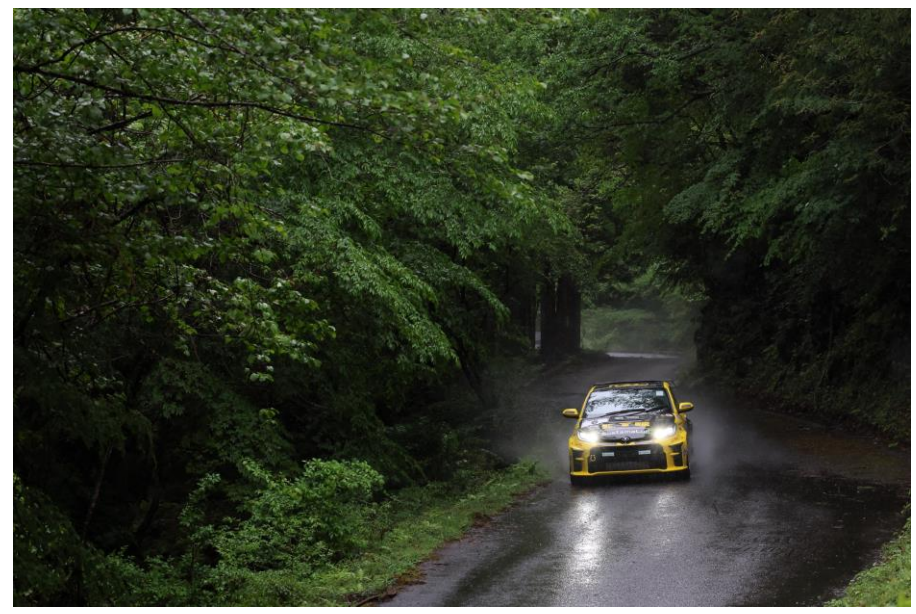
SS2/5　「Takai Memorial 1/2」 7.18 km

鬱蒼とした森の中を進む林道ステージ。全体的に路面は粗く道幅は狭い。全体を通して上りが続くため、速度を落とさず走り切ることが重要。SS2では雨が続く中での走行となり、滑りやすい路面に苦戦しつつも車両をコントロールした。雨が止んだSS5では、セッティングを見直したショックアブソーバが見事にマッチし、安定感ある走行を実現。霧による視界不良もある中、攻めの姿勢を貫き、SS2から10.9秒のタイムアップで総合8位の好タイムを記録した。

SS3/6　「Ohmine Pass 1/2」 9.45 km

川沿いの狭い林道を使用したステージ。川に架けられた古い石橋を何度も渡り、路面の変化や走行ラインの見極めが重要となる。約400mの暗いトンネルも特徴的。SS3では総合11番手のタイムを記録し、他車のトラブルも重なる中で徐々に順位を上げていく。2ループ目のSS6では11.6秒のタイムアップを果たしたが、他車のペースアップには及ばず差を詰めるには至らなかった。それでもSS5での快走が功を奏し、レグ1終了時点でクラス7位／総合9位の好位置につけた。





LEG 2





SS7/9　「Mt.Chausu 1/2」 8.30 km

三重県との県境に位置する茶臼山を通る林道ステージ。上り下りが激しく、高速区間では滑りやすく難易度は高い。レグ2は未明から晴れとなり、林道の乾きを見越してドライセッティングで臨んだが、ステージ内には湿りが残り、滑りやすい状況が続いた。SS7では滑る車を抑えつつ攻めの走りを見せ、総合9位の好タイムを記録。しかしJN-2優勝の山田選手に及ばず、総合順位を1つ落とす。SS9では3.1秒のタイムアップを果たし、JN-4王者 内藤選手から総合順位を1つ取り返した。

SS8/10　「SSS Meihan 1/2」 0.65 km

ジムカーナやドリフト競技でも知られる「名阪スポーツランド」のCコースを使用したステージで、多くの観戦客で賑わった。林道と異なり視界が開けているため、純粋なドライビングスキルと車両セッティングの完成度が問われる。SS8では、ラリー専用に設計されたRally2やR5といった他のJN-1クラスのマシンに迫る、総合6位のタイムを叩き出した。SS10でも総合7位のタイムを記録するなど、カヤバ製ダンパーの性能とドライビング力をアピールした。
最終結果として、クラス7位/総合9位でラリーを締めくくった。



KAYABA RALLY TEAM

DRIVER　石黒 一暢　- Ishiguro Motonobu -



GW中に様々なトレーニングを実施しドライビング、ペースノート両方の改善に努めてきました。序盤は様子を見すぎて出遅れてしまいましたが、中盤以降徐々にペースを取り戻すことができ、いくつかのステージでは好タイムを記録できたことで手応えを感じるラリーとなりました。林道ステージは課題が多くありますが、ステージによっては車両性能の近いJN-2トップ勢に負けない走りが出来ましたので、今後も引き続きドライビングの質を上げ、良い製品作りに貢献できるよう邁進してまいります。

Co-DRIVER　穴井 謙志郎　- Anai Kenshiro -



レグ1は雨に苦しみペースを上げきれませんでしたが、最終的には良い順位でまとめることができました。前戦での失敗を踏まえたタイヤ空気圧の調整も狙い通りに決まり、リーディングにも少しずつ安定感が出てきたと感じています。JN-1のレジェンドの皆様にはまだまだ及びませんが、車両性能の近いJN-2の強豪選手を目標に、総合順位を意識したラリーを展開しました。名阪ステージではリーディングせず“重り”に徹しましたが、この石黒の素の速さを林道でも発揮できるよう、今後も改善を積み重ねていきます。

LEADER　松下 雄介　- Matsushita Yusuke -



苦手な雨のステージでもしっかりと粘り強くトップに食らいつこうと走る石黒、SS中以外の新しい取り組みに挑戦してくれた穴井、そしてダメージを負った車両をサービス時間を余らせるくらい余裕で整備するメカニック4名に大きな成長を感じたラリーでした。次戦モントレーはラリーファンのみならずカヤバ社員の観戦ツアーも控えていますので、しっかりと元気に走るカヤバ GRヤリスをご覧いただけるように短い時間の中で完璧に準備し、チーム一丸となって全力で参戦したいと思います。














NEXT

Rd.4
6/6～8　群馬県安中市
MONTRE 2025

Special Thanks

伊勢湾海運株式会社　CHITA　Takako　Fukoku Tokai　株式会社平原精機工業　UTSUE　山二産業株式会社　三正工業株式会社

カトーメテック　TAIYO STEEL MATERIALS　株式会社 甲山製作所　TOSHIDA KOGYO CO.,LTD　NSSI NAKAGAWA SPECIAL STEEL INC.　株式会社サイキ　OGISON

IKO 日本トムソン　株式会社 東海技研　金山カヤバ株式会社　Covalent　株式会社 興亜組　DAIDO METAL　林愉快研究所　生駒鍍金工業株式会社

USUDA 臼田工業　PROSPEC　NUTAHARA RALLY SCHOOL　YOKOHAMA　LAILE　CERAMETA　KTMS　HKS

FORTEC　PIAA　BELL HELMETS　TONE　RECARO　AQTEC INTERNATIONAL　Mizuno　SPK

※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。
Kites rise highest against the wind - not with it.　Winston Churchill

@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram

@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)

@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube

Youtubeにて
動画公開中！

KYB
Our Precision, Your Advantage